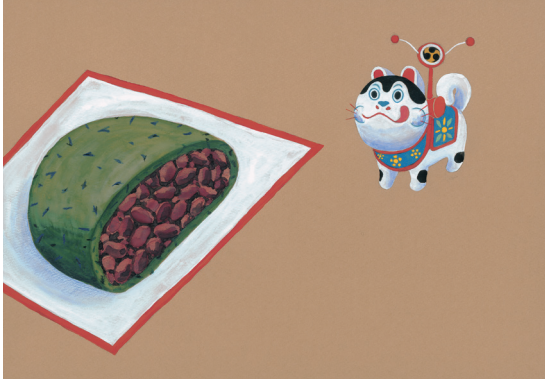




ぼくはくさもち

みやもと かずあき



STORY

くさもちが、犬の人形に自分について語ります。「このいろ このかたち かつこいいだろう」「ぼくの においを かいで ごらんよ ほら うっとりしてしまうだろう」と語った後、その原料のよもぎのことや、中のあんこのこと、くさもちがいる和菓子屋さんのこと、くさもちが好きなさくらもちさんのことなどを紹介します。そして焼き目をつけると、もっとかつこよくなると言います。



みやもと かずあき

57才 自営業 和歌山県

受賞のことば

ごちそう様しても、草もちがあるとついつい手が伸びてしまいます。草もちを食べると春のポカポカに包まれた心もちになるのは僕だけでしょうか？ そんな草もちの絵本が優秀賞に輝き、草もちも喜んでいることと思います。一番喜んでいるのは僕ですが、これから心にも火を灯す作品づくりをすすめていきます。

審査員コメント

「おいしそうだ」、この絵本をみると草餅が食べたくなる。ほどよく描かれたリアルさが、その気にさせる。この草餅、絵本の中では桜餅に恋してる。なんていい展開。白い置物の犬も静かに画面を引き締めている。

高島 純